

2024年度 財務専門官本試験（専門試験〔多肢選択式〕） 講評 その②

No.	科目	出題内容	正解	正答率※	講評
41	政治学・社会学	政治思想	1	A	<p>【政治学・社会学】 No41「政治思想」は、たとえば、肢2の「H. アレントは、人間の営みを「労働」「余暇」「活動」の三つに分けるとともに」、肢3の「J. ローレンスは・・・福祉国家的な再分配を批判した。」に代表されるように、非常に平易な内容である。確実に正解しなければならない問題である。No42「政治体制・制度」は、正解肢4のレイブハルトの内容がやや難解であるが、肢5のリブセットを除けば、その他の選択肢の内容は基本的であるので、何とか正解したいところである。No43「選挙制度」も、No41と同様に基本的な内容である。3問中2問は確実に正解したい。</p> <p>No44は、W. G. サムナーの集団類型論について問うたものであるが、不正解の肢がいずれも他の社会学者の集団類型論についての説明となっており、人名と概念の組み合わせさえわかれば簡単に解ける問題であった。No45はN. ルーマンの理論を説明した文の穴を埋める形式であるが、AとCがわかれば、Bがわからなくても正解できるものである。No46も間違いの肢であるアとイはともに人名と概念の組み合わせがわかれば解けるレベルである。よって全3問とも易問であり、すべて正解できていなければならない。</p>
42		政治体制・制度	4	B	
43		選挙制度	2	A	
44		集団類型論	5	A	
45		N. ルーマンの理論	2	B	
46		組織や社会	5	A	
47	会计学	企業会計原則の一般原則	2	B	<p>【会计学】 No47は企業会計原則における一般原則の知識を問う問題で、各原則の内容をおさえておくとう解答しやすい。会计学では頻出論点なので準備できていた受験生が多かったと思われる。No48は減価償却及び固定資産に関する知識を問うもので、各肢とも基本的な事項（定義など）を問うており、解答しやすかったと思われる。No49は有価証券に関して、分類や取得原価、貸借対照表の表示などの基本的事項が問われているが、潜在株式や減損処理なども問われており、これらは難しかったかもしれない。No50は純資産に関する問題であるが、資本会計の知識が必要ということもあり、難しいと感じた受験生もいたと思われる。No51は連結財務諸表から持分法に関する問題が出題された。連結財務諸表は比較的難しい論点が多く、本問も持分法について細かい点が問われていたことから、難しいと感じた受験生が多かったと思われる。No52は損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表に関する基本的な知識を問うもので、解きやすかったと思われる。</p>
48		減価償却や固定資産	1	A	
49		有価証券	2	A	
50		純資産	5	A	
51		持分法	3	A	
52		財務諸表	1	A	
53	経営学	経営組織	1	A	<p>【経営学】 No53はシャインがややマイナーであるが、他の肢の誤りが分かりやすいので正解できるだろう。No54のマクレランドはマイナー論点であり、しかも正解肢であるので、正解はやや難しい。No55は成長ベクトルは覚えるのが大変であるが、肢5のSWOTが明らかに正解に見えるので易しいだろう。No56はコモディティ化が新傾向、また、OEMも細かな所を突いているので、やや難。No57は肢Aと肢Bを根拠をもって切るのは難しく感じる人もいるかもしれないが、CとDが正しいことが分かるので正解可能だろう。No58は肢4は細かな所を突いており、肢5にはBEP Sなどの新テーマが含まれており、内容的にはレベルが高いが、肢3の水平統合と垂直統合は、過去問で何回も出ているので正解はできる。マクレランド、ルメルト、BEP Sなどに関する新傾向のテーマがみられるが、消去法などで対処できるので6問中4問は確実に取れそうである。よって、今年の難易度は昨年並みである。</p>
54		モチベーション	2	A	
55		経営戦略	5	A	
56		マーケティング・組織間関係	4	A	
57		財務管理	5	A	
58		企業形態	3	A	
59	英語	内容把握	3	B	<p>【英語】 内容把握2題、文章整理2題、空欄補充2題（単語補充）の構成で、昨年から変更はなかった。文章量が多くやりにくさを感じる一方で、丁寧に問題を解けば正解は見つけやすいという問題が多かった。昨年と比較すると全体的にやや難易度が下がっている。ただし、空欄補充問題は他の問題と比較して難易度が高い問題だった。</p> <p>【情報数学】・【情報工学】 省略</p>
60		内容把握	5	A	
61		文章整理	2	B	
62		文章整理	4	A	
63		空欄補充	1	B	
64		空欄補充	4	B	
65	情報数学		2	A	
66			1	A	
67			3	B	
68			4	A	
69			1	A	
70			3	A	
71	情報工学		4	C	
72			2	C	
73			3	C	
74			4	C	
75			3	C	
76			5	C	

※ 正答率（A：60%以上、B：40%以上60%未満、C：40%未満）は、LEC公務員試験 受験生応援企画『本試験無料成績診断』のデータ（5/31時点）に基づいて算出しています。本成績診断のご利用方法等の詳細は、LEC公務員Webサイトの専用ページ（<https://www.lec-jp.com/koumuin/juken/seiseki/>）にてご案内しています。



KL23780